

事業概要					
定員 20 名 利用者平均年齢 86.4 歳、利用者平均介護度 4.02					
計画趣旨					
アネックス（定員 20 名）の開設と京都ひまわり園の居住環境改善に合わせ、ケアの質、介護技術をより一層向上できるように取り組みます。また、地域密着型施設としての役割を常に意識し、温かみのある個別サービスを提供していきます。					
基本方針	事業計画(Plan)				
	項目	内容（数値・実施時期等）		実施責任者	
1 経営基盤の安定と強化	組織基盤の強化	アネックス開設に伴い、個室と多床室に分かれる為、申し込み状況の整理と待機者確保について、バランスよく対応し、速やかな入居と稼働率の維持・向上に努める。カンファレンスを定期的で開催することで各部署の情報共有を強化していく。 ハード面・ソフト面などさまざまな環境の変化にスピーディー且つ柔軟に対応することが出来る適応力を強化する。チャレンジ精神を持ちトライ&エラーを繰り返し積み重ねながら成長していく事を目指す。	稼働率 97%	相談員 佐藤光造 看護課主任 八鍬悦美	
	2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	利用者のほとんどが認知症を患っていることを意識する。専門的な立場から認知症の方の理解を深め、利用者が笑顔で過ごせるようにケアプランを作成し、チームで実施する。 身体拘束や不適切ケアについても知識を深め、学ぶ機会を設ける。	通年 スタッフ 会議年 2 回	介護課主任 木本澄江 介護課副主任 玉井智也
		利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	介護現場、専門職が連携し、きめ細やかなサービス計画を策定する。それに基づいたケアの実践・評価をしっかりと行う。	通年	介護課主任 西野正美
		リスクマネジメントと BCP	災害・感染症に対応した BCP の策定と、訓練等で BCP を発動し、内容の質を高めていく。	訓練 年 1 回	介護課係長 笹井竹成
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	介護現場の負担軽減の為、介護ロボット、福祉用具の活用を推進する。また新しい技能実習生の育成、及び介護技術向上を目指す。 働きやすい職場にするために、現状の把握と何が必要であるかを考える。	通年 スタッフ 会議年 2 回	介護課主任 木本澄江 介護課副主任 玉井智也	
4 地域貢献	地域活動と交流	コロナ禍ではあるが、住み慣れた地域で入居者とご家族が最後まで交流できるようにしていきたい。地域の活動に参加できるよう、外出等の支援も検討していく。	通年	介護課係長 笹井竹成	

令和5年度 社会福祉法人 秀孝会 短期入所生活介護 京都ひまわり園 事業計画

事業概要					
定員8名 利用者平均年齢85.1歳、利用者平均介護度2.85					
計画趣旨					
アネックス（定員20名）の開設と京都ひまわり園の居住環境改善に合わせ、ケアの質、介護技術をより一層向上できるように取り組みます。また、地域全体の福祉の向上に貢献することを念頭に施設としての役割を常に意識し、温かみのある個別サービスを提供していきます。					
基本方針	事業計画(Plan)				
	項目	内容(数値・実施時期等)		実施責任者	
1 経営基盤の安定と強化	組織基盤の強化	アネックス開設に伴い、特養が個室と多床室に分かれる。SSは多床室であるが特養と一体でケアしていく為、バランスよく対応し、速やかな受け入れと稼働率の維持・向上に努める。カンファレンスを定期的で開催することで各部署の情報共有を強化していく。 ハード面・ソフト面などさまざまな環境の変化にスピーディー且つ柔軟に対応することが出来る適応力を強化する。チャレンジ精神を持ちトライ&エラーを繰り返し積み重ねながら成長していく事を目指す。	稼働率 50%	相談員 佐藤光造 看護師主任 八鍬悦美	
	2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	利用者のほとんどが認知症を患っていることを意識する。専門的な立場から認知症の方の理解を深め、利用者が笑顔で過ごせるようにケアプランを作成し、チームで実施する。 身体拘束や不適切ケアについても知識を深め、学ぶ機会を設ける。	通年 スタッフ 会議年2回	介護課主任 木本澄江 介護課副主任 玉井智也
		利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	介護現場、専門職が連携し、きめ細やかなサービス計画を策定する。それに基づいたケアの実践・評価をしっかりと行う。	通年	介護課主任 西野正美
3 人材の確保と育成	リスクマネジメントとBCP	災害・感染症に対応したBCPの策定と、訓練等でBCPを発動し、内容の質を高めていく。	訓練 年1回	介護課係長 笹井竹成	
	人材確保に向けた環境整備	介護現場の負担軽減の為、介護ロボット、福祉用具の活用を推進する。また新しい技能実習生の育成、及び介護技術向上を目指す。 働きやすい職場にするために、現状の把握と何が必要であるかを考える。	通年 スタッフ 会議年2回	介護課主任 木本澄江 介護課副主任 玉井智也	
4 地域貢献	地域活動と交流	コロナ禍ではあるが、住み慣れた地域で入居者とご家族が最後まで交流できるようにしていきたい。地域の活動に参加できるよう、外出等の支援も検討していく。	通年	介護課係長 笹井竹成	

令和5年度 社会福祉法人 秀孝会 京都ひまわり園デイサービス 事業計画

事業概要				
月曜日～金曜日 9:30～12:30 定員 10名 13:30～16:30 定員 10名				
計画趣旨				
利用者の人権や尊厳を守り個々の要望や課題に向き合い人として信頼の高いサービスの提供を行う。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容(数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	多職種連携を図り情報を共有し利用者及び家族の希望と要望を第一に考えて信頼の高いサービスの提供とサービスの質を向上していく。業務内容を検討、改善しながら経費等の節減に努める。		通年 所長 林秀典
	組織基盤の強化	居宅介護支援事業所等との連携と情報共有を密にし、新規利用者の獲得に取り組み、複数曜日の利用者を増やし稼働率を上げる。		稼働率 65% 所長 林秀典
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	利用者の希望、要求を把握し了解を得ながら身体面、精神面に注意を払いサービス等の提供を行う。		通年 所長 林秀典
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	利用者の要介護状態等を把握し、日常生活に必要な身体機能面、認知機能面の機能訓練等のサービス提供。		通年 作業療法士 久保田萌
	リスクマネジメントとBCP	災害時等に生命を守るため避難訓練を特養等と共同で実施し防災意識を高める。		年2回 所長 林秀典
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	毎月1回、介護技術と介護知識等の部署内勉強会を行い職員の介護技術と介護知識の向上に努める。		1回/月 作業療法士 久保田萌
4 地域貢献	地域活動と交流	運営推進会議、個別訪問、電話等での利用者、家族等からの介護相談等に取り組んでいく。		通年 所長 林秀典

事業概要				
利用者数 28名 利用者平均年齢 84歳、利用者平均介護度 2.1				
計画趣旨				
利用者の個々の思いをくみとり、安心して自立した生活が送れるよう支援します。長年、訪問介護に携わった経験や知識を活かし、より良いサービスを目指します。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容(数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	併設するケアハウスの利用者が永く施設での生活が送れるように、移動時間をなくし、効率よく稼働できるようにケアマネジャーと連携し柔軟な体制づくりを行う。		利用延べ回数 月平均 300回 介護課 近藤由美子
	組織基盤の強化	内部研修において利用者や家族が不安、不快にさせない利用者に合わせた、ヘルパーにとって最も大事な接遇を高める		1回/1ヵ月 勉強会 介護課 近藤由美子
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	認知症や障害を持つ利用者に対して状況・状態を把握し、伝わりやすく理解しやすい声かけ、接し方をスタッフ間で共有し、利用者の気持ちに寄り添ったサービス提供を行う。		1回/月 介護課 近藤由美子
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	利用者が必要としている支援を踏まえたうえで利用者の動作、体力、意欲に焦点を当てたコミュニケーションを図り自立や重度化防止に取り組む。		1回/1ヵ月 介護課 近藤由美子
	リスクマネジメントとBCP	災害時に何が必要か、地域や利用者宅の危険を知り必要な備え、対策に取り組む。		年間を通して 介護課 近藤由美子
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	ヘルパー一人ひとりの状況や能力に見合う業務分担、ヘルパー同志で助け合える雰囲気、サポート体制、全員で働きやすい職場作りを進める		1ヵ月/1回 介護課 近藤由美子
	組織力向上に向けた環境整備	内・外部の研修に積極的に参加し、事業内で知識を共有し、人材の向上を目指す。		1回/1ヵ月 介護課 近藤由美子
4 地域貢献	専門性を生かした貢献事業の構築	住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けたいという意向に沿う為に、柔軟な受入れを行う。		スポット利用の受け入れ 介護課 近藤由美子

令和5年度 社会福祉法人 秀孝会 グループホーム京都ひまわり園 事業計画

事業概要				
定員 18 名 利用者平均年齢 87.6 歳、利用者平均介護度 3.3				
計画趣旨				
認知症ケアに特化した施設として、また、看取りケアの意向を受けることが出来る施設として、利用者一人ひとりが毎日の生活の中で楽しみや心地良さを感じることや、活躍できる場を持つことで馴染みの環境の中でそれぞれの暮らしがより豊かになる様に努めます。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容 (数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	組織基盤の強化	入所申し込み待機者面談・状況把握や施設情報の発信を行い、速やかな入居に繋げる。 個別ケア、認知症ケア、看取りケアへの対応に強みのある施設として専門性を高め体制強化に努める。		通年 介護課主任 熊谷昌幸
	2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	入居者が自ら考え行動することや選択肢のある日常生活を送ることの大切さをチーム内で共有し統一したケアサービスの提供を行う。	3 か月毎に見直し 介護課 庄司光穂子
		利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	様々なアセスメントツールを活用し、入居者一人ひとりが求めている事や言葉にできない思いをケアプランへ反映しチームケアへ繋げる。	3 か月毎に見直し 所長 小林裕美子 介護課 吉田千明
	リスクマネジメントと BCP	BCP の周知を図る。その上でスタッフから見た課題について意見のくみ上げを行い検討に繋げる。	年 2 回 課長 黒岡盛一郎	
3 人材の確保と育成	組織力向上に向けた環境整備	認知症ケア、身体拘束、看取りケアについての勉強会を行う。 新人職員の育成過程において、法人の理念や基本的な考え方を丁寧に伝えていき、チームケアの方向性を統一する。	月 1 回 新人職員育成時 介護課 政次一輝	
4 地域貢献	地域活動と交流	地域運営推進会議を通して情報交換、意見を伺う機会を持ちサービス提供に反映できるよう繋げていく。 コロナウィルスの感染状況や社会情勢を鑑み、日常の外出支援、地域交流等の支援も検討していく。	運営推進会議（偶数月）開催 介護課 倉田真人	

令和5年度 社会福祉法人 秀孝会 ケアハウス ポポロ 21 事業計画

事業概要				
入居者 50 名 利用者平均年齢 84 歳、利用者平均介護度 2 要支援 12 名 自立 2 名				
計画趣旨				
自立度の高い方に対応する施設としての専門性を生かしながら、入居者がより長く安定した暮らしが継続できる支援を目指します。また、入居者数を維持しつつ職員・入居者とも節約意識を持ち収支の安定に努めます。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容(数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	入居者年間 600 名を継続して目指す。 通院同行など有償サービスの検討をする。 物価の高騰をふまえ食材内容の見直し、施設の備品、電気代の節約に取り組み評価する。		1 年間 通して行う 副施設長 小山 文代
	組織基盤の強化	業務を効率よく行えるように業務内容の可視化をする。 職員間で情報が確実に共有できるようにほのぼの閲覧と連絡回覧で情報を共有する。		1 年間 通して行う 毎日 副施設長 小山 文代
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	日常生活で入居者の現状を見極め、できる事を増やせる支援をする。 認知症を学び、状態に合わせた対応ができるよう定期的に学ぶ機会を持つ。		年 1 回 評価する 年 2 回及び 随時 副主任 目黒 隆之
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	入居者の思いや意見、希望の食事が反映できるように定期的にアンケートを取る。 体感して楽しめるクラブ活動や行事を検討して行う。		3 ヶ月に 1 回 副主任 目黒 隆之 栄養課 高士 依里奈
	リスクマネジメントと BCP	災害、感染症の BCP に沿ってポポロの事業継続について検討する。 災害時の避難方法、感染の予防・対応について入居にわかりやすく伝える。		年間 2 回 年間 3 回 副主任 目黒 隆之
3 人材の確保と育成	組織力向上に向けた環境整備	府老協軽費・養護のトークルームを利用して他施設と情報共有する。 職員全員がスキルアップできるよう勉強会に積極的に参加する。また資格取得を目指す。 今まで携わっていなかった業務に取り組む。		1 年間 通して行う 副施設長 小山 文代 副主任 目黒 隆之
4 地域貢献	専門性を生かした貢献事業の構築	在宅生活が継続できる施設として認識してもらえるよう居宅・地域包括のケアマネ、地域の病院、市役所と連携する。		1 年間 通して行う 副施設長 小山 文代
	地域活動と交流	災害時に近隣と協力ができる体制作りを検討する。		1 年間を 通して行う 副施設長 小山 文代

令和5年度 社会福祉法人 秀孝会 特別養護老人ホーム 有智の郷 事業計画

事業概要				
定員 80 名 利用者平均年齢 86 歳、利用者平均介護度 3.8				
計画趣旨				
見守り機器 aams、インカムを安全かつ、有効的に活用できるよう取り組みを行う。利用者のニーズを把握し、質の高いサービス提供が行えるようケアの質・知識の向上に努めていく。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容(数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	多職種との情報共有を図り、看取り体制を整える。事前に看取りパンフレットを配布し、入所時の意思確認に取り組む。看取りケアプランカンファレンスの定着と看取り期における各職員の役割を果たし看取り加算 60%以上を目指す。		通年 看護課主任 小野香子
	組織基盤の強化	優先待機者を常時 5 名程度は確保し空床が出た際には、1 週間以内に受け入れが出来るよう体制を整える。老健施設や居宅ケアマネジャーと連携し、待機者の最新情報を把握する。退院時など病院と連携をとりスムーズに受け入れが出来るよう連絡・調整する。		通年 相談課主任 庄源明子
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	ご本人とご家族の意向を重視した看取りケアの提供と年 2 回勉強会を行い知識と質の向上を図る。ご家族向けの看取りケアのアンケートを行い、ご家族の評価を取り入れた振り返りを行いサービスの向上を図る。		通年 介護課副主任 林孝明
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	見守り機器 aams、インカムの適正な使用を委員会で検討すると共にその効果について検証し業務負担の軽減、効率化を図る。		通年 介護課主任 佐藤あゆみ
	リスクマネジメントと BCP	虐待防止・身体拘束廃止、介護事故について各員会がリスク管理を行い、会議などで検証していく事で、虐待防止や事故防止に繋げていく。		通年 介護課副主任 東入来翼
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	個人面談を実施し、現場の課題・職員の心理状態を把握する事で職場環境を改善する。介護技術に対するフォローアップを行う事で技術の向上を図る。		年 2 回 介護課主任 佐藤あゆみ
	組織力向上に向けた環境整備	外部研修・内部研修を充実させる。研修内容をピックアップし、定期的に学べる機会を作る。基本的な技術の見直しや知識の確認を行う事で個々のスキルアップを目指す。		通年 介護課主任 佐藤あゆみ
4 地域貢献	地域活動と交流	職場体験・見学、現場実習の受け入れを積極的に行い福祉人材育成に取り組む。		通年 介護課副主任 東入来翼

事業概要				
定員 10 名 利用者平均年齢 歳、利用者平均介護度				
計画趣旨				
見守り機器 aams、インカムを安全かつ、有効的に活用できるよう取り組みを行う。利用者のニーズを把握し、質の高いサービス提供が行えるようケアの質・知識の向上に努めていく。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容 (数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	新規ショートを積極的に受入れ、リピート利用していただけるよう、ショートステイのケアの質や活動の見直しを行い、稼働率 60%以上を目指す。在宅ケアマネージャーを中心とした、各サービス事業者と連携を取り、スムーズな受け入れ体制を整える。		通年 相談課主任 庄源明子
	組織基盤の強化	新規ショートステイや緊急ショートステイの受入れをスムーズ行う体制を強化する。(正確な情報収集、カンファレンスの実施、情報共有等)		通年 相談課主任 庄源明子
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供を行う。ご家族・在宅ケアマネージャーと情報共有しながら在宅生活継続の為のケアの実施に努める。		通年 介護課ユニットリーダー 島田亜弥
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	見守り機器 aams、インカムの適正な使用を委員会で検討すると共にその効果について検証し業務負担の軽減、効率化を図る。		通年 介護課主任 佐藤あゆみ
	リスクマネジメントと BCP	虐待防止・身体拘束廃止、介護事故について各委員会がリスク管理を行い、会議などで検証していく事で、虐待防止や身体拘束廃止、事故防止に繋げていく。		通年 介護課副主任 東入来翼
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	個人面談を実施し、現場の課題・職員の心理状態を把握する事で職場環境を改善する。 介護技術に対するフォローアップを行う事で技術の向上を図る。		年 2 回 介護課主任 佐藤あゆみ
	組織力向上に向けた環境整備	外部研修・内部研修を充実させる。研修内容をピックアップし、定期的に学べる機会を作る。 基本的な技術の見直しや知識の確認を行う事で個々のスキルアップを目指す。		通年 介護課主任 佐藤あゆみ
4 地域貢献	地域活動と交流	職場体験・見学、現場実習の受け入れを積極的に行い福祉人材育成に取り組む。		通年 介護課副主任 東入来翼

事業概要				
定員 30 名/日 利用者平均年齢 82 歳 利用者平均介護度 2				
計画趣旨				
これから先の変化にもさまざまなサービスで対応ができる複合施設の入り口として、施設内外の橋渡しの役目を担える事業を行う。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容 (数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	体験利用から実利用につながるよう積極的に受け入れを行う。サービス内容がわかるように連絡ノート活用や日々のご様子がわかるよう広報を行う。利用者家族や居宅事業所に向けて実施		通年 管理者 出口 由起枝
	組織基盤の強化	感染症や災害等で事業が途切れることがあっても、すばやい復旧ができるよう他部署との連携を行う。緊急時の受け入れ体制を整え、困ったときに迅速に対応ができる。		通年 管理者 出口 由起枝
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	デイサービス以外の生活にも目を向け、その方の生活全体の中でデイサービスがどのような役割を果たす必要があるのかを常を感じ実行する。		通年 理学療法士 遠藤 佳幸
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	利用者の意欲向上が図れるよう、生活課題を自身の力で克服できるような支援を行う。専門性をもって、適切なアドバイスやプログラムを実施する。		通年 理学療法士 遠藤 佳幸
	リスクマネジメントと BCP	迅速な苦情相談の対応の実施 災害の備え、訓練の実施		通年 管理者 出口 由起枝
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	引き続き、チームケアの充実を図り、互いを補い合い、働きやすい職場環境を皆で話し合いながら整えていく。		通年 管理者 出口 由起枝
4 地域貢献	専門性を生かした貢献事業の構築	在宅介護の悩みや不安、ストレスが発散できるような楽しい催しを計画し実行する。		年1回 管理者 出口 由起枝
	地域活動と交流	利用者の活動の幅が広がるように、施設外のイベントへの参加。ボランティア活動の支援		通年 管理者 出口 由起枝

令和5年度 社会福祉法人 秀孝会 有智の郷 ケアマネジメントセンター 事業計画

事業概要				
利用者の人格を尊重した介護保険サービスの提供（74件/月）と評価を行う。				
計画趣旨				
特定事業所加算Ⅲ（309単位/月）の算定を目指し、自立支援・利用者本位に即したケアマネジメントを提供する。また、関係機関と協働して地域住民の健康の増進、認知症を含めた身体的・精神的・社会的フレイルの予防に貢献できるよう、地域包括支援センターと一体的な体制を構築する。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容（数値・実施時期等）		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	法令を遵守し、支援の提供に当たっては利用者の意思及び人格を尊重し、つねに利用者の立場に立ち、利用者に提供される指定居宅サービスなどが特定の種類や事業所に不当に偏ることのないよう公正中立に行う。	通年	相談課 北野太郎
	組織基盤の強化	上記に加え、常勤の介護支援専門員1名の新規採用を目指し、特定事業所加算Ⅲの算定と運営基準の遵守を図ることで人員体制および財務基盤のうえでもより一層安定するよう努める。	通年	相談課 北野太郎
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	自らの意志の表出（言語化）・形成・実現が困難な認知症などの利用者であっても、人権や尊厳が保持できるような意思決定支援を行う。	通年	相談課 北野太郎
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	利用者一人ひとりの想いや状況を適切にアセスメントし、オーダーメイドの相談支援とケアプラン計画立案によりケアチームとして支援提供する。	通年	相談課 北野太郎
	リスクマネジメントとBCP	苦情・事故、感染・災害に早期対応できるようリスク回避と軽減をテーマに研修を実施する。	各年1回	相談課 北野太郎
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	常勤の介護支援専門員1名の新規採用と定着が図れるよう、求人（採用）情報の表現の再検討など、実行可能な課題解決を検証する。	通年	相談課 北野太郎
	組織力向上に向けた環境整備	ケアマネジャー一人ひとりの年度研修計画に沿ってスキルアップを図り、地域包括支援センターとの月一回の会議や毎朝のミーティングの活用、スーパーバイズにより課題共有し、ケアマネジャーが持てる力を発揮できるよう事業所としての組織力より一層向上できるよう整備する。	通年	相談課 北野太郎
4 地域貢献	専門性を生かした貢献事業の構築	ケアマネジメントを行うなかで得られた知識と経験を地域でも活用いただけるよう、法人内だけでなく、行政や他団体とも協力する。	通年	相談課 北野太郎
	地域活動と交流	カフェ・おりおり（オレンジカフェ）、はつらつ健康教室やその他の市事業への参画をとおし、地域活動と交流を図る。	1回/月 (カフェ/教室) 通年	相談課 北野太郎

事業概要				
男山東中学校圏域に暮らす高齢者やその家族を支える為、総合相談、権利擁護、介護予防支援、包括的・継続的ケアマネジメント業務を行っている。				
計画趣旨				
地域で生活する高齢者とその家族の一次的かつ総合的な相談窓口としての役割を認識し、適切な相談支援を行うことができるよう体制を整えていく。相談支援の持つ連携力を強みとして、適宜必要な関係機関と連携することで地域課題の解決に取り組んで行く。				
基本方針	事業計画(Plan)			
	項目	内容(数値・実施時期等)		実施責任者
1 経営基盤の安定と強化	公益性、主体性、透明性、効率性を原則とし信頼性の高い財務体質を構築	八幡市よりの委託業務、介護予防事業所としての業務を軸に安定した運営を行う事で、地域住民のニーズの開拓、充足を図っていく。		随時 管理者 橋本由佳
	組織基盤の強化	委託業務を安定して遂行するために必要な人材確保を行い、組織基盤の安定を図る。		随時 管理者 橋本由佳
2 サービスの質	利用者の人権が尊重されたサービスの提供	高齢者の権利擁護についての視点を持ち、本人が適切な意思決定を行い、適宜必要なサービスを選択することができるよう支援を行う。		随時 相談員 山上美恵子
	利用者ニーズに則した高品質なサービス提供	利用者の意向、状態に応じた適切なサービス利用の提案、調整等行う。		随時 相談員 山上美恵子
	リスクマネジメントとBCP	災害等非常事態発生時に事業の継続を行うことができるよう行動計画を策定し、事業所内で協議を進める。		随時 管理者 橋本由佳
3 人材の確保と育成	人材確保に向けた環境整備	委託業務の安定した運営の為、配置基準に明記されている三専門職を確保し、各専門職が各自の専門性を発揮することができるよう環境整備を行う。		随時 管理者 橋本由佳
	組織力向上に向けた環境整備	各々の専門性を確保しながら、法人部署内における役割を適切に担うことができ組織としての力量を向上することができるよう環境整備を行う。		随時 管理者 橋本由佳
4 地域貢献	専門性を生かした貢献事業の構築	見守り活動等を通して医療専門職の視点で地域を巡回することで、地域住民の実態とニーズ把握を行い、必要な予防事業等の計画や実施に繋げていく。		随時 相談員 井上郁子
	地域活動と交流	認知症カフェの開催等地域社会に根差した活動を行い、地域との交流機会を増やしていく。		随時 相談員 井上郁子